

2009年2月25日

## ベルリン日本商工会 2008年活動報告 (案)

山室啓介

1. ベルリンで唯一の日本関係団体として活動する日本商工会は、会員企業のための円滑な事業環境の整備、ベルリンおよびドイツに関する経済・産業等の情報提供、ならびに会員相互の交流・親睦を促進することを目的として2008年は以下の活動を実施した。
2. 会員のさらなる拡大を目的として新たにベルリンに進出した日系企業や、ザクセン州など新連邦州地域に所在する日系企業に対し、商工会活動・機能の広報と入会への依頼を実施した。
3. 会員企業の事業環境の改善と整備に関連し、2008年4月からベルリンにおける滞在許可の新規取得、延長の申請に際し、健康保険加入についてドイツのプライベート保険に加入することを指摘されるケースが数件みられ、当会にも相談が寄せられた。このため、当会ではベルリン州外国人局担当者と何回か会合を持ち、プライベート保険への加入がベルリンでの滞在が一定期間内であれば緩和されていることを確認し、会報等で会員への周知を図った。
4. 在ベルリンの各国経済関係団体との連携を図る目的で、KIWB（ベルリン外国経済団体連合会）会合に参加し、参加団体と各種の情報交換を行った。
5. 会員相互の交流・親睦の促進のために、5月と9月にソフトボール大会、10月のゴルフ・コンペ、12月に忘年会を開催、会員以外にも多くの参加者があり、活発な交流があった。また、12月にベルリン日本人国際学校主催により開催されたファミリークリスマス会の協賛団体として資金面等で開催に協力した。
6. 連邦首都ベルリンの産業立地についての理解を深める目的で、当会主催で9月に「BMWベルリン二輪車工場」視察会を開催。当日はベルリンのみならずデュッセルドルフやドレスデンからも参加者があり、Made in BerlinのBMWオートバイについての知識を深めることができた。
7. 会員企業への情報提供については、講演会を計4回開催、また、会報の発行（2回）を実施したほか、JETRO Berlinより提供のあった「伯林時評」（不定期刊）を適宜会員宛に配布した。
8. 4月に開催されたハノーファーメッセ2008は日本がパートナー国として招待されたことから、当会としても積極的に広報に協力。会員企業に対して出展参加の要請を行った。
9. 08年度の会員異動については次のとおり。
  - (1) 正会員の異動 08年12月31日正会員数 15社（08年1月1日14社）
    - ① 入会1社（企業名：Toyota Motor Europe Berlin Office）
    - ② 退会なし
  - (2) 特別会員の異動 08年12月31日特別会員数35社＋記者会11社（08年1月1日32社＋記者会11社）

- ① 入会 4 社 (企業名 : TOAS Deutschland GmbH、MJC Europe GmbH、DJ Kommunikation、KNITIDO Europe GmbH)
- ② 退会 1 社 (企業名 : TMT Gastronomie GmbH)